

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	PDCAサイクルによる支援や事業の推進を重点目標とし、改善策の展開、評価の実施、課題や展望によるサイクルの活性化が図られています
	内容	就労継続支援B型（以後「B型」と略す）及び就労移行支援（以後「移行」と略す）共に、また法人全体もPDCAサイクルによる事業や支援の定着を重点目標として取り組んでいます。支援の面では個別支援計画とサービス等利用計画との整合性を図る、ケース記録等に支援計画の活動方針や本人の希望や支援目標を明記して計画を意識した支援に繋げていく等の改善が進んでいます。また事業計画での各分野の課題や目標に対して事業報告で評価を行い、次なる課題や展望を示して職員の意識啓発や共有を行っており、PDCAサイクルの活性化が図られています。
2	タイトル	コロナ禍や障がい特性の多様化の中で「一人ひとりの自己実現」を目指し、個人の希望が可能な限り実現するように様々な努力を重ねています
	内容	理念にある「一人ひとりの自己実現の支援」を念頭に、年齢や障がい特性の多様化が進む中で利用者の能力や意欲等を確実に把握、職員間で検討しながら個別支援の充実に努めています。B型では資源回収や箱作り等の新たな作業受託での利用者の作業の幅の拡大と共に生活支援でも可能な限りの継続的な支援を行っています。移行では利用前、利用中、就職後において面談で本人の希望を聞き取り、就業の準備と共に、会社側にもより良いマッチングへのプランを提示して3名が就職するといった着実な成果を挙げています。
3	タイトル	予測のできない社会状況の変化にも臨機応変に対応し、利用者の居場所づくり、働きやすい環境整備に取り組んでいます
	内容	長引くコロナの蔓延により、様々な業種に影響を及ぼしています。当B型でも受注作業が減少するなど、大きな影響を受けました。これまでは、工賃は一定としていましたが、コロナによる影響により売上に応じての変動制としました。利用者にも丁寧に説明をして理解を得ています。利用者一人ひとりによって作業効率は異なりますが、工賃が変動制になったとはいえ支給する時給は、どの利用者も同額となっています。予測のできない社会状況の変化にも対応すべく新規事業への開拓も積極的に取り組んでおり、利用者の働きやすい環境整備に取り組んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	健康管理面で、緊急時には命に関わる事態も想定されますので、緊急時に必要な基本的な対応についての手順等の検討が望めます
	内容	健康管理面では、新型コロナウイルス対策を徹底することを重点目標とし、新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画の整備も行われています。またそれ以外でも法人内他事業所の看護師との連携による褥瘡への対応等も実施されています。利用者の緊急時への対応については「てんかん発作対応マニュアル」は整備されていますが、他の医療面での緊急事象については利用者の状態や変化の確認とその場に応じた必要な対応とされています。命に係わる事態も想定されますので、医療的緊急時の基本的な手順等の検討が望めます。
2	タイトル	義務化予定の業務継続計画について整備は行われていますので、職員への周知、共有に向けての研修実施等での進展や成果に期待します
	内容	今年度の運営基準改定で、3年の経過措置後に義務化となっている業務継続に向けた計画の策定や研修・訓練等の実施計画への取り組みはすでにスタートしており、「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」の整備も行われておりリスクマネジメントへの対策は着々と進んでいます。ただ惜しむらくは、職員アンケートでもこの業務継続計画に関する事項について「わからない」と回答した職員の比率が多い現状があり、法人、事業所側もその点には留意しており、今年度も研修を実施して職員への浸透を図る予定で、その進展や成果に期待します。
3	タイトル	職員がモチベーションを持ちながら、働ける環境を今一度見直し、新人職員が定着する仕組み作りの構築が期待されます
	内容	移行では就職、その後のフォローの実績を限られた人数の職員で取り組んでいます。B型では、80名近い利用者の一人ひとりに合わせた作業に取り組んでもらうよう支援することで、利用者の生活の張りにもつながっています。それぞれに利用者に対するきめ細かな支援に取り組んでいることは理解できますが、その代わりに職員の負担、新人職員の定着を危惧する声も職員から挙がっています。決して退職者が多いわけではありませんが、記録のデジタル化や支援の明確な基準化などを求める意見もありますので、業務全体の効率化を図る取り組みが期待されます。